

令和元年度第5回 吹田市立千里山竹園児童センター運営委員会会議録(要旨)

開催日	令和元年 8月 8日(木)	開催時間	午後7時30分～午後8時40分
開催場所	千里山竹園児童センター 2階 集会室		
出席者数	10人		
欠席者数	7人		
公開・非公開の別	公開		
傍聴者数	0人		
議題・案件	1、開会の挨拶 2、7月の事業報告 3、今後の行事予定 4、センターまつりについて 5、その他 6、閉会の挨拶		

吹田市立千里山竹園児童センター運営委員会 令和元年8月期会議録

1、開会 会長の挨拶

2、7月の事業報告

(1)館長より、7月の事業につき月報、その他の配布資料に従って説明、報告を行う。

配布資料…月報、統計資料、校区別来館者集計表、ボランティア実績報告  
専用使用実績報告

(2)サマーフェスティバル(7月20日)について、運営委員よりの意見・感想

運営委員 想定外の参加人数で驚いた。最初に受付を担当し、その後、ゲームコーナーに移る予定であったが、来館者が途切れることなく多かったので、終始、受付の対応になった。

運営委員 缶ビールを飲みながら来た保護者に驚いた。館長の素早い対応で、穏便に済んで良かった。

館長 児童センターを初めて利用する方で、一般のお祭り感覚で飲酒をされたようだ。  
昨年度は不審者対策として、七夕の行事の際、協議会の理事に入口の前で立っていただき、入館時の声掛けをしていただいた。今回は、入口に見守りのスタッフを配置していなかった

為、アルコールを摂取しながらの入館を止められなかった。駐輪場もいっぱいになり、数台は道路に止められていた。センターまつりの時の様に 駐輪場担当のスタッフも必要であった。

運営委員 幼児が多く、スーパーボールとヨーヨーが大変混雑した。

運営委員 幼児用のスーパーボールの種類、数が小学生用より少なく、保護者より不満が出ていた。

運営委員 幼児用の水槽は、親の写真撮影会となり、回転がとても悪く、混み合い、困った。

運営委員 ポイは破れたら終わり、次の人に交代するとのルールを徹底させた方がよい。

運営委員 途中、遊具で遊び出す幼児がいたが保護者が注意をしないので、注意をした。

運営委員 参加人数の多さに、その対応に追われ、周りの様子は見れていない。会場に安全確認をする担当者を配置すべきだと思う。

館長 安全確認は職員が担当としていたが、今回、想定外の参加人数と、新規の利用者の多さに、その対応に追われてしまった。今後は駐輪場、センター入口、会場内と、安全確認の担当者を配置し、安全な運営が出来るよう努める。

運営委員 混雑していた広場とは違い、館内のコーナーはゆったりと遊べていた。

館長 館内放送で、館内の遊びの紹介、混み具合等を伝えれば、混雑の解消になっただろうか

館長 昨年度の5倍ほどの参加者になり、対応に慌てる場面もあったが、運営委員、協議会会員、地域諸団体からのボランティアの協力のもと、各コーナーで細やかな対応や配慮があって、ケガ・事故なく、安全に楽しい行事となった。センターまつりは更なる参加人数の増加が想定される。今回の反省点や懸念される要因をあげ、センターまつりに向けて3カ月の準備期間でその対応・対策を検討をしていく。運営委員会の会議の場だけでなく、意見や提案があれば随時、ご連絡いただけますようお願いいたします。

### 3、今後の行事予定

(1) 児童厚生員より 8月、9月の行事説明と各行事へのボランティアのお願いをする。

配布資料…センターだより(8月号・9月号)

#### 主催事業

・避難訓練【火災】(8月28日)

2名の運営委員が参加を検討中

・プラ板(8月31日)

3名の運営委員より参加・協力の申し出あり。

・アクアビーズ(9月21日)

2名の運営委員より参加・協力の申し出あり。

#### 自主事業

・三世代交流ニュースポーツ(9月7日)

吹田発祥のニュースポーツ「スプラッシュボール」を行う。指導は千里新田地区体育振興会

### 4、センターまつりについて

配布資料…センターまつり計画案

- ・センターまつりの開催日時と、準備・片付けに係る開館時間の短縮について 確認する。
- ・センターまつりの各コーナーの内容を提案し、計画案以外に遊びのアイデアがあれば、次回の運営委員会までに、センターに連絡が欲しい旨、伝える。

## 5、その他

館長より、故障した冷蔵庫について

冷蔵庫には、常時、冷却剤(保冷剤)を保管し、ケガ等発生時、患部を早急に冷やす為に使用している。熱中症の疑いのある利用者にもその初期対応として体温を下げるために、大量の保冷剤を使用する。安全な児童センターの運営には、冷蔵庫が必要と考え、市役所に冷蔵庫の購入につき、問い合わせる。市役所からは、①各館より熱中症対応に冷蔵庫の設置希望があるが、予算化出来ず設置出来ない。②各館、地域からの寄贈品でまかなっている状況である。③竹園の開館当初に冷蔵庫を備品として購入した経緯がわからない。この3点より、竹園だけ特別扱いはできないとして、金額に関わらず、委託料からの購入は認められないと返答あり。

熱中症・ケガ対応に、職員個人が所有のクーラーボックスをセンターで借り上げ、出勤の職員が保冷剤・氷を持参し対応にあたってきたが、職員にとり多大な負担となっているため、管理運営協議会に要望し、設備等整備基金より冷蔵庫を購入いただくことになる。

運営委員より、

熱中症対策で冷蔵庫は必須である。購入出来るようになって良かった。熱中症の初期対応を迅速にされていますが、体調、様子を見て、救急車を呼ぶかどうか迷う状態なら、すぐに救急車を呼ぶのがよい。

## 6、閉会 副会長の挨拶

次回運営委員会 9月12日(木)19:30～